

活 動 記 録 簿(視察・研修用)

会派・議員名

公明党・山下千穂

年 月 日	2024年10月8～10日			
場 所	岩手県盛岡市			
名 称	第19回全国議会議長会研究フォーラム			
参加者氏名	山下千穂			
目的・内容・結果等	市議会議員が共通する政策課題等について情報交換を行い、連携を深め合う本フォーラムにおいて、今回は「主権者教育の新たな展開」について学んだ。将来の地方自治を担うこども達への主権者教育に対する様々な意見や取り組みについて伺うなか、今後、わが市においても若者や女性など多様な人材の議会参画を進めていく重要性を感じた。また、八幡平のインバウンド誘致視察においては、市内観光に商工業者との連携と協力を上手く生かし、地元の魅力を最大限に生かした体験や名産品を通して、地域経済活性化に取り組んでいる様子が印象に残った。			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
	岩手県盛岡市	航空	伊丹⇄花巻	75,000円
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	小 計			75,000円
	経費内容	金 額	内 訳	
	フォーラム参加費	9,275円	研究フォーラム	
	フォーラム視察費	11,000円	八幡平市視察	
	宿泊費	15,000円		
	宿泊費	15,000円		
		円		
	小 計			50,275円
	合 計			125,275円
備 考				



Web 1f869711a9e8b752c3d638e685f7e655
2024年09月20日 08:26発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

山下千穂 様

金額 81,860円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312205042804
航空券/料金券発行日	2024年9月19日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%
この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社
登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヤマシタチホ 様

2024年10月8日 (火)

運賃：セイバー

16:45 大阪 (伊丹)

クラス：普通席
便名：JAL2187

18:05 花巻

2024年10月10日 (木)

運賃：セイバー

18:40 花巻

クラス：普通席
便名：JAL2190

20:15 大阪 (伊丹)

81,860 円

* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 81,860円

交野市議会

山下 千穂 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-003-565-1
発行日 2024年9月13日(金)
取引年月日 2024年10月8日(火)~2024年10月11日(金)

請求書

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階
株式会社JTB
盛岡支店
支店長 竹内 明彦

第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2024年9月27日(金) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税 率 ・ 税 額
10月8日 (火) 宿泊代金 (ホテルメトロポリタン盛岡・本館 シングル)	1	¥18,700	10%
10月9日 (水) 宿泊代金 (ホテルメトロポリタン盛岡・本館 シングル)	1	¥18,700	10%
合 計 (うち消費税)		¥37,400	¥3,400
10%対象小計		¥37,400	¥3,400
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥37,400

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行
【預金種別】 普通
【口座名義】 株式会社JTB
か) ジェイティービー

【支店名】 十四号支店
【口座番号】 0695083
【お客様番号】 565 - 1

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

領 収 明 細

再発行

領収証発行日: 2024年11月11日

2 / 2

領収額合計 121,700円 (税込)

【内訳】

イベント名		第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡			
イベント会期		2024年10月09日 ~ 2024年10月10日			
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2024年08月03日	2024年10月08日 ホテルメトロポリタン盛岡(本館)(シングル/一泊朝食付) 三浦 美代子 様	18,700円	1	18,700円	10%
2024年08月03日	2024年10月08日 ホテルメトロポリタン盛岡(本館)(シングル/一泊朝食付) 山下 千穂 様	18,700円	1	18,700円	10%
2024年08月03日	2024年10月09日 ホテルメトロポリタン盛岡(本館)(シングル/一泊朝食付) 三浦 美代子 様	18,700円	1	18,700円	10%
2024年08月03日	2024年10月09日 ホテルメトロポリタン盛岡(本館)(シングル/一泊朝食付) 山下 千穂 様	18,700円	1	18,700円	10%
2024年08月23日	2024年10月09日 R&Bホテル盛岡駅前(シングル/一泊朝食付) 坂本 顕 様	9,500円	1	9,500円	10%
2024年09月27日	2024年10月09日 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING(シングル/一泊朝食付) 松永 隆太 様	18,700円	1	18,700円	10%
2024年09月27日	2024年10月09日 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING(シングル/一泊朝食付) 岡田 智里 様	18,700円	1	18,700円	10%
① 請求額合計				121,700円	11,063円
(10%対象)				121,700円	11,063円
(8%対象 ※1)				0円	0円
(対象外 ※2)				0円	0円
② 入金額				121,700円	
③ 請求残額				0円	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

収入印紙

領収証発行日: 2024年11月11日

1 / 2

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階

株式会社JTB
盛岡支店
担当者: 支店長 竹内 明彦
領収証番号: 324394317000209005
登録番号: T8010701012863

領 収 証

交野市議会

下記のとおり領収いたしました。

再発行

領収額合計 121,700円 (税込)

イベント名	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
-------	-------------------------

イベント会期	2024年10月09日 ~ 2024年10月10日
--------	---------------------------

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分	
	121,700円	11,063円	-
(10%対象)	121,700円	11,063円	-
(8%対象)	0円	0円	※1
(対象外)	0円	0円	※2

入金額	121,700円
-----	----------

請求残額	0円
------	----

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

交野市議会
山下 千穂 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-003-565-1
発行日 2024年9月13日(金)
取引年月日 2024年10月9日(水)~2024年10月10日(木)

請求書

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階
株式会社JTBC
盛岡支店
支店長 佐野 明彦

第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2024年9月27日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座	
【銀行名】 みずほ銀行	【支店名】 十四号支店
【預金種別】 普通	【口座番号】 0695083
【口座名義】 株式会社JTBC か) ジェイティービー	【お客様番号】 565 - 1
*お名前の前にお客様番号をご入力ください。	

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

山下 千穂 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

交野市議会

山下 千穂 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-003-565-1
発行日 2024年9月25日(水)
取引年月日 2024年10月8日(火)～2024年10月11日(金)

請求書

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階
株式会社JTB
盛岡支店
支店長 竹内 明彦

第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2024年9月27日(金) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
視察代金 (Fコース)	1	¥11,000	10%
合 計 (うち消費税)		¥11,000	¥1,000
10%対象小計		¥11,000	¥1,000
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥11,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行
【預金種別】 普通
【口座名義】 株式会社JTB
カ) ジェイティービー

【支店名】 十四号支店
【口座番号】 0695083
【お客様番号】 565 -1

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

収入印紙

領収証発行日: 2024年11月11日
1 / 2

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階

株式会社JTB
盛岡支店
担当者: 支店長 竹内 明彦
領収証番号: 324394317000209012
登録番号: T8010701012863

領 収 証

山下 千穂 様

下記のとおり領収いたしました。

再発行

領収額合計 11,000円 (税込)

イベント名	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
-------	-------------------------

イベント会期	2024年10月09日 ~ 2024年10月10日
--------	---------------------------

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	11,000円	1,000円 -
(10%対象)	11,000円	1,000円 -
(8%対象)	0円	0円 ※1
(対象外)	0円	0円 ※2

入金額	11,000円
-----	---------

請求残額	0円
------	----

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

領収明細

再発行

領収証発行日: 2024年11月11日

2 / 2

領収額合計

11,000円

(税込)

【内訳】

イベント名		第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡				
イベント会期		2024年10月09日 ~ 2024年10月10日				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税	
2024年09月20日	2024年10月10日 11:40 Fコース 八幡平市 安比 高原インバウンド誘致 視察 山下 千穂 様	11,000円	1	11,000円	10%	
① 請求額合計				11,000円	1,000円	
(10%対象)				11,000円	1,000円	
(8%対象 ※1)				0円	0円	
(対象外 ※2)				0円	0円	
② 入金額				11,000円		
③ 請求残額				0円		

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

ご利用明細

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は、お振込みの記録です。

年月日	取扱店番	お取引内容
060926		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
9358		
時刻	税込手数料	お取引金額
17.48	¥275	¥9,000
お振込みで ない場合		残 高

ご案内		
お振込先は みずほ銀行 十四号支店 普通 0695083 か) JTB様 ご依頼人は 565-1 ヤマツタ チホ様		

ご利用明細

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は、お振込みの記録です。

年月日	取扱店番	お取引内容
060926		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
9359		
時刻	税込手数料	お取引金額
17.49	¥275	¥37,400
お振込みで ない場合		残 高

ご案内		
お振込先は みずほ銀行 十四号支店 普通 0695083 か) JTB様 ご依頼人は 565-1 ヤマツタ チホ様		

第19回

全国市議会議長会研究フォーラム



大阪府 交野市議会
議員

山下 千穂

大ホール 2階 2列 31番

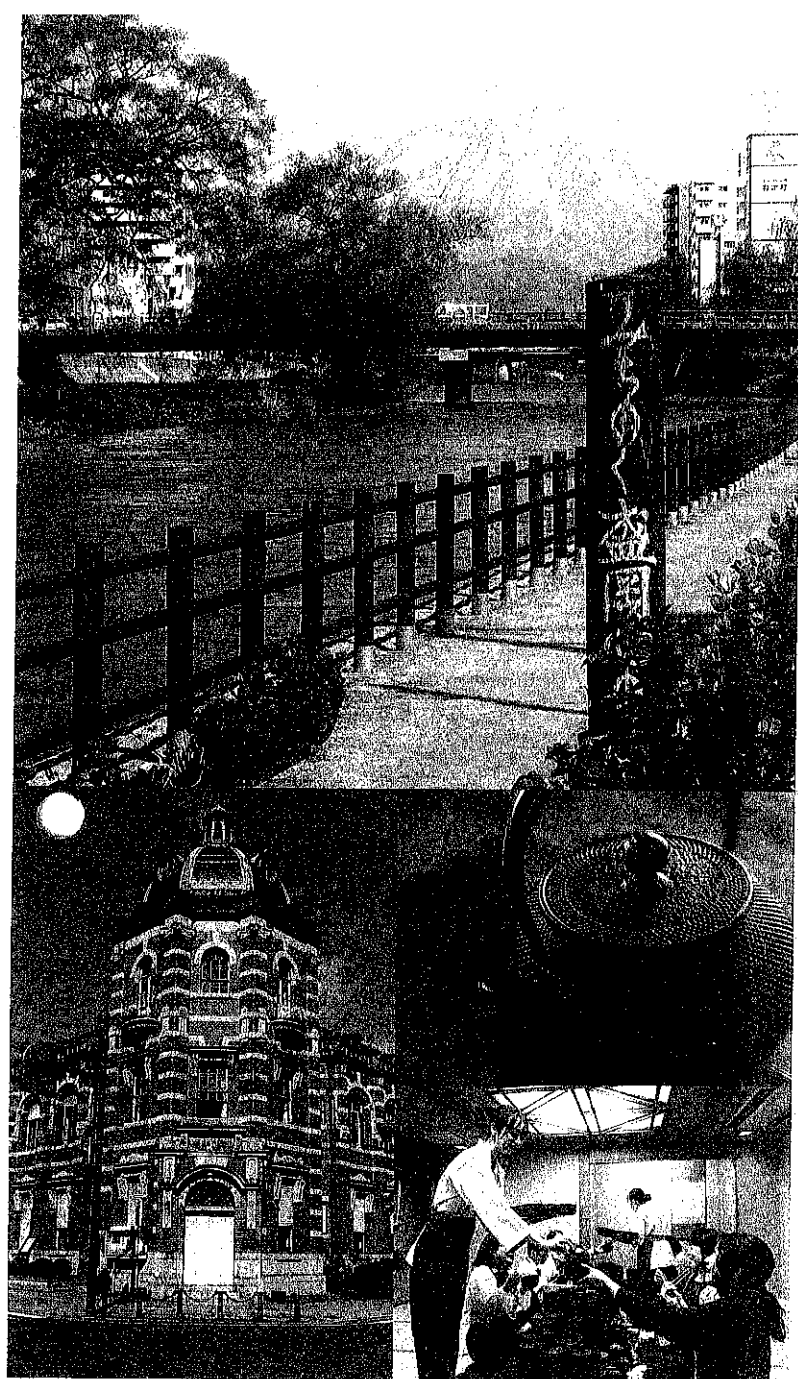


第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



「大会テーマ
主権者教育の新たな展開」



令和6年

10月9日[水] ▶ 10日[木]

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)



- 主催: 全国市議会議長会
- 後援: 総務省
- 協賛: 全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施: 第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

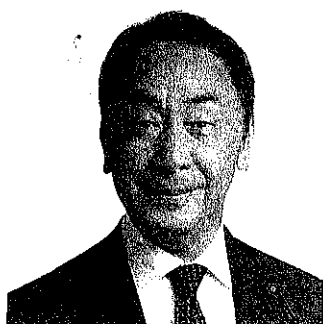
第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



主権者教育の新たな展開

◆主催者挨拶



全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿 ぼう やすなが

第19回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ盛岡市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

さて、昨年、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正法が成立し、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められています。

このような中、地方議会は、投票率の低下や無投票当選の増加など、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しており、今後は、同法の改正を踏まえ、女性や若者など多様な人材の議会への参画を一層進めていく必要があります。

そのためには、各地方議会が自ら積極的に更なる改革に努め議会の活性化を図り、議会の重要な役割について、広く住民に理解が得られるよう取り組まなければなりません。中でも、将来の地方自治を担う子どもたちに対する主権者教育の取組は重要であり、今後は、各地方議会の主権者教育に係る好事例の横展開を一層推進するとともに、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を国民運動として取り組む必要があります。

そこで今回は、「主権者教育の新たな展開」をテーマとし、各地方議会の主権者教育に係る事例を検証するなど、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

各方面からお招きする講師の方々をはじめ皆様方から活発なご意見をいただきながら広く討議し、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆プログラム

■第1日目 10月9日● [会場：トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)]

13:00	開会式
13:20	基調講演 「人口減少社会における地域の未来図」 菅 義偉 第99代内閣総理大臣
13:50	休憩
14:20	パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授 パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授 越智 大貴 一般社団法人WONDER EDUCATION代表理事 渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 遠藤 政幸 盛岡市議会議員
16:20	次期開催地挨拶
16:30	終了
17:40	意見交換会 [ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」]
18:40	意見交換会終了

■第2日目 10月10日● [会場：トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)]

9:00	課題討議 「主権者教育の取組報告」 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 白鳥 敏明 伊那市議会前議長 諸岡 党 四日市市議会議員(第83代議長) 服部 香代 山鹿市議会議員
11:00	閉会式
11:30	視察

◆ 基調講演



菅 義偉 すが よしひで
第99代内閣総理大臣

1948年秋田県生まれ。1973年法政大学法学部卒業。衆議院議員秘書、横浜市議2期を経て、1996年衆議院議員選挙で初当選(9期連続小選挙区当選)。2006年9月総務大臣に就任し、「ふるさと納税」を創設。その後、自民党選挙対策総局長、自民党組織運動本部長、自民党幹事長代行等を経て、2012年12月第2次安倍内閣の内閣官房長官に就任。他に国家安全保障強化担当大臣や沖縄基地負担軽減担当大臣、拉致問題担当大臣を務める。2019年4月1日に新元号「令和」を発表。2020年9月自由民主党総裁、第99代内閣総理大臣に就任。

◆ パネルディスカッション



井柳 美紀 いやなぎ みき
静岡大学人文社会科学部法学科教授

アメリカ生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士(法学)。宮城教育大学教育学部・准教授を経て、2011年静岡大学人文社会科学部・准教授に着任。2015年から現職。専門は政治学。近年は、政治と教育、シティズンシップ教育、地方選挙などを研究。昨年は大学で担当する政治学ゼミと静岡市選挙区で投票率向上のための研究・提言も実施。共著に『政治学(第2版)』(東京大学出版会)、『政治リテラシーを考える』(風向社)など。地方選挙関連では『Voters』に「地方選挙の低投票率を考える」なども。



土山 希美枝 つちやま きみえ
法政大学法学部教授

北海道芦別市生まれ。2000年法政大学大学院社会科学部政治学専攻博士課程修了。博士(政治学)。2001年龍谷大学法学部助教授。2011年に政策学部へ異動したのち同教授をへて2021年から現職。専門は公共政策論、地方自治、政治学。主な著書に『高度成長期「都市政策」の政治過程』(日本評論社、2007)、ほか、『質問力』でつくる政策議会(公人の友社、2017年8月)、共著『公共政策学』(ミネルヴァ書房、2018)、『自治体政策学』(法律文化社、2024)など。『議員NAVI』(第一法規ウェブマガジン)にて「ヒロバな議会でいこう」連載中。



越智 大貴 おち ひろたか
一般社団法人WONDER EDUCATION 代表理事
1987年、愛媛県今治市出身。学生時代によのなか科に出会って以来、政治や選挙・よのなかをおもしろく学びあい、みんなで創るシティズンシップ教育・主権者教育の研究・実践・場づくりを全国各地で展開している。高等学校で非常勤講師を務める傍ら、2014年にNPO法人を設立。2017年に総務省から「主権者教育アドバイザー」の委嘱を受ける。2022年より現職。こども・若者主導のよのなかづくりモデルを創るきびだんごプロジェクトを展開中。



渡辺 嘉久 わたなべ よしひさ
読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局

1987年早稲田大学政治経済学部卒。読売新聞東京本社入社。青森支局、社会部、政治部、世論調査部、編集委員、紙面審査委員会委員長などをへて、2023年から現職。選挙権年齢引き下げをきっかけに「若者と政治」の取材に取り組む。総務省「主権者教育の推進に関する有識者会議」メンバー、同省主権者教育アドバイザーも務める。共著に『2009年、なぜ政権交代だったのか 読売・早稲田の共同調査で読みとく日本政治の転換』(勁草書房)。



遠藤 政幸 えんどう まさゆき
盛岡市議会議員

1961年生まれ。富士大学経済学部卒業。平成11年5月から盛岡市議会議員を務め、連続7回当選。現在7期目。その間、観光対策特別委員会委員長、総務常任委員会委員長、予算審査特別委員会委員長、議会運営委員会委員長、第29代盛岡市議会議員を歴任。令和5年9月から、第31代盛岡市議会議員に就任。議員活動の傍ら、地域に寄り添いながら消防団団長、学校法人評議員、保護司、少年補導員、日本公衆電話会東北統括支部支部長など、幅広く様々な活動を行っている。

◆ 課題討議



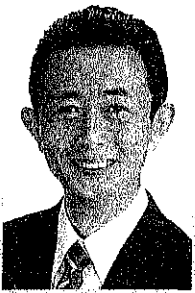
河村 和徳 かわむら かずのり
東北大学大学院情報科学研究科准教授

1971年静岡県出身。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学後、慶應義塾大学法学部専任講師(有期)、金沢大学法学部助教授を経て現職。専門は政治学。近年は復興過程における政治と行政や選挙・議会のデジタル化などを研究。総務省地方議会・議員のあり方に関する研究会構成員や全国都道府県議会議員会連合会デジタル化専門委員会座長、全国町村議会議員会連合会議員のなり手不足対策検討会委員などを務める。著書に『電子投票と日本の選挙ガバナンス—デジタル社会の投票権保障』(慶應義塾大学出版会、2021年)など。



白鳥 敏明 しろとり としあき
伊那市議会前議長

1948年1月生まれ。工学院大学電気工学科卒業。平成20年6月まで長野日本電気株式会社取締役。平成26年4月から伊那市議会議員を務め、連続3回当選。現在3期目。令和2年5月から総務文教委員長、令和4年5月から令和6年5月まで第9代伊那市議会議員を歴任。市民に開かれた議会を目指し、高校生との意見交換会を開催し、若者の意見を聴取するとともに高校生からの請願を取受、また住民参加と議会機能強化のために、議会モニター制度や政策サイクル機能を制定。



諸岡 覚 もろおか さとる
四日市市議会議員(第83代議長)

1971年農家の二男として生まれる。94年日本大学農獣医学部卒業。2004年から四日市市議会議員を務め、現在6期目。教育民生常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、都市・環境常任委員会委員長、予算常任委員会委員長、決算常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、新総合計画調査特別委員会委員長を歴任。19年5月から20年5月まで議長を務め、若者を対象とした出張方式の交流を実施するため、現在の「ワイ！ワイ！GIKA」の立ち上げに取り組んだ。



服部 香代 はっとり かほ
山鹿市議会議員

1962年熊本県山鹿市生まれ。熊本音楽短大卒業。音楽教室主宰。音楽療法士。2人の子どものPTA活動に16年間携わる。男女共同参画社会の実現を目指し、民間団体で活動。2013年、女性議員ゼロだった山鹿市議会議員に立候補し、初当選。2021年、5代目議長就任。くまもと女性議員の会会長。ローカルマニフェスト推進連盟元共同代表。女性ネットワークやまが顧問。鹿本高校同窓会副会長。「多様性が求められる社会で女性議員の存在は重要」地方議会議会2023年8月号。

第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



■資料について

配布資料のPDFデータは、全国市議会議長会ホームページの「メンバーのページ(議員の方)」内「その他の資料」欄に掲載しています。(ID:shigir01 PW:mtshr244)

右の二次元バーコードからアクセスできますので、ご活用ください。

※本会の許可なく各種資料を第三者に提供することを禁じます。



■アンケートについて

今後の参考にさせていただきますので、本フォーラムに関するご意見・ご感想をお聞かせください。右の二次元バーコードからアンケートページ(Googleフォーム)にアクセスし、ご回答いただきますようお願いします。

※回答期限は10月11日(金) 17時00分までです。



主権者教育の新たな展開

静岡大学人文社会科学部 井柳美紀
iyanagi.miki@shizuoka.ac.jp

地方議会に関する地方自治法改正案を元と 主権者教育の推進に関する決議

先の通常国会において、三読委員会最速審議として可決附議を行ってきた「地方議会の役員及び議員の職務等の明確化などを内閣とする改正地方自治法」が成立し、

- 議会は、住民が選挙した議員をもって組織されること
- 議会は、議決により地方自治団体の重要な意思を決定すること
- 議員は、住民の責任を負い、議員にその職務を行うこと

が明文化された。

地方議会は、投票率の低下や無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏りなどの課題を抱えており、この法改正を踏まえて、議会とは何かを住民にしっかりと理解いただく、女性や若者など多様な人材の議会への参画を一層促進していくことが重要である。

そのためには、各議会が、異なる改革に努め議会固有の存在を固め、議会の重要な役割について特定の地方自治を担うこととみなすなど、広く住民に理解の得られるよう取り組んでいかなければならない。

中でも、いわゆる主権者教育の取組は重要であり、一議院では、これまで、教育委員会や校長会などの学校関係機関を通じて改正地方自治法の内容について情報提供を行い、関係が深まった主権者教育が推進されるよう取り組んできた。

今後は、各議会の主権者教育に係る好ましい模範例を一層推進するとともに、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を恒常活動として取り込んでいく必要がある。

さらに、各議会の主権者教育の取組については、議員自ら積極的に携わり、議会・議員の活動を広げていくことで、ことさらの重要性に現れるものとしていくことが重要である。

人口減少や高齢化など社会を取り巻く環境が更に厳しさを増す中、特長の地方自治を担うこともともに、住民自治の根幹をなす地方議会への関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進するため、次の事項を早急に実現するよう求める。

- ・ 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること。特に、市民に対しては、「地方議会が地方公共団体の重要な意思決定を行う」など地方議会の役割が明確化された今回の地方自治法改正を反映したものを示すこと。
- ・ いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずること。

令和5年12月21日

全国都道府県議会連合会
全国市議会連合会
全国町村議会連合会

議長会による主権者教育の推進

○地方議会の課題

- ・ 投票率の低下
- ・ 無投票当選の増加
- ・ 議員の性別や年齢構成の偏り、など

○ 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること。

○ いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずること。

教育基本法

教育基本法（昭和22年）

第8条（政治教育） 良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならない。

②法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

※教育基本法改正（平成18年） 第14条へ

○「政治的教養」とは（昭和22年）

a.民主政治、政党、憲法、地方自治等、民主政治上の各種制度についての知識

b.現実の政治の理解力及びこれに対する公正な批判力

c.民主国家の公民として必要な政治道徳、政治的信念

※文科省「教育基本法資料室へようこそ！」の解説より
(https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/004/a004_08.htm)

文科省通知「高等学校における政治的教養と政治的活動について」（昭和44年）より抜粋

「現実の具体的な政治的事象は、内容が複雑であり、評価の定まっていないものも多く、現実の利害の関連等もあって国民の中に種々の見解があるので、指導にあたっては、客観的かつ公正な指導資料に基づくとともに、教師の個人的な主義主張を避けて公正な態度で指導するよう留意すること。

なお、現実の具体的な政治的事象には、教師自身も教材としてじゅうぶん理解し、消化して客観的に取り扱うことに困難なものがあり、ともすれば教師の個人的な見解や主義主張がはいりこむおそれがあるので、慎重に取り扱うこと。」

課題討議:「主権者教育の取組報告」

地方議会と主権者教育

東北大学大学院情報科学研究科
准教授 河村和徳

理想と現実

実践経路の現がある

・理想

- ・主権者教育は、基本的にシチズンシップ教育であるべき
- ・地域の社会的課題を自ら認識し、経験を含めた形で社会を改善していく力を養う方向に持っていくべき
- ・社会には多様な意見があり、多様な意見があることを理解する(→ディベート)

・現実

- ・知識の享受(制度の理解)が中心、正解を教えようとする
- ・投票者重視(模擬投票)の教育
- ・実施の主体が「公(教育委員会、選挙管理委員会)」…連携の不十分さ

現在の主権者教育で感じる限界

- 模擬投票に偏りすぎた教育
 - 模擬投票は選挙の仕組みを学ぶ上で有効だが...
 - 選管の出前講座もそうなりがち
 - 選挙権年齢引き下げ以前なら、現実の事例を使えたが...
- 政治的中立の足枷
 - 政治的発言をしないことだけが政治的中立というわけではないのだが...
 - ディベートの不足...ノウハウの乏しさ

政治に参加する方法

- 政治に参加する方法は「選挙」ばかりではない。
 - 簡単な政治参加の方法...「署名する」「選挙で投票する」
 - 団体をつくり、社会に働き掛ける...「陳情活動」「デモの実施」
 - 付随して...
 - 政治家や団体への献金
 - 選挙運動を手伝う(ウグイス嬢をする、周囲へお願いして回る)
 - 知恵を出す(政策を提案する)
- 究極には...立候補する

署名は簡単ですが効果は限定的
社会にはソコがあります

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
モデル観光地事業
八幡平エリアにおける取組

2024年10月10日

株式会社八幡平DMO

代表取締役兼CEO

寺田匡宏

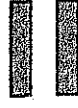
岩手に、圧倒的な来訪滞在価値を創造する

富裕層呼び込みをきっかけに、岩手という土地の高付加価値化と物産の世界ファンづくりを実現し、観光だけでなく域内産業の生産額を上げ、持続可能な経済・社会を目指す。

世界水準の
戦略商材



それを表す
世界水準の
宿・食



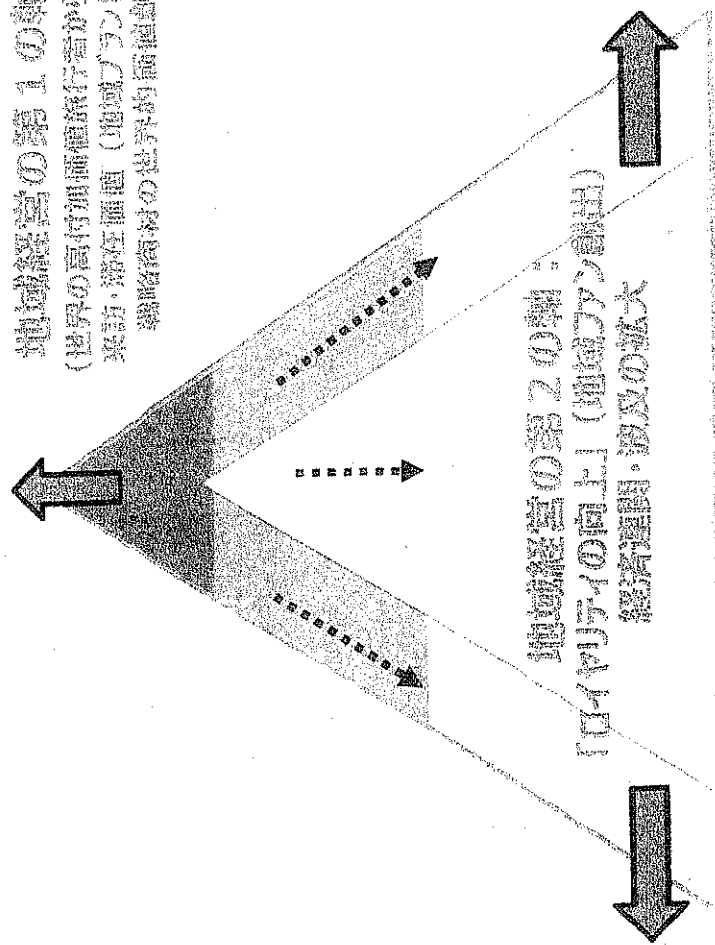
観光を端緒とした
世界的価値の創出

世界から選ばれる、そして誇りある、持続可能な観光経済と地域社会

観光庁

顧客のロイヤルカスター化と高付加価値化を進め、世界的滞在価値（地域ブランド）を創出。訪問頻度・滞在日数・消費額を増加させながら、地域産品の高付加価値化や販売力の強化など、地域の商業、交通、工業、農林水産業などとの連携強化を一体で図り、域内経済循環率を向上させ、経済連関・波及を拡大。結果、域内生産額を向上。

地域経営の第1の軸：
（世界の高付加価値旅行客からみた）
来訪・滞在価値（地域ブランド）や
戦略商材の世界的価値創出



「目的・前提」

- ✓ 域内生産額の拡大、住まう人の所得、雇用及び生活の質を向上
- ✓ 文化、伝統、自然、地域社会など地域に永く引き継がれた価値の持続可能性を高め、未来に継承

世界から選ばれる、
誇りある持続可能な観光地へ

入込客数・滞在日数・消費額（関係人（1人）あたり）

地域経営の第3の軸：
地域経済循環率の向上による
投資効率の改善、人材・設備に対する高サイクル投資の加速

※観光庁「地方における持続可能な観光経済の発展に向けたアクションプラン」は、アフターコロナを前提とした観光地・観光産業の再生に向けてアフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会「最終とりまとめ」に基づき、関係府県関係者等が作成

I. ウリの精査

II. 体制構築

III. マスタープラン改訂

1. マーケットイン視点での精査＜ウリ＞ ①国内ナショナルDMCによる評価 ②テーマ別FAMツアーによるフィードバック ③競争力のあるウリのまとめ	(1) 食 ・郷土料理の商品化 (冷凍技術と採用食材) ・ミシュラン×ミシュランでの価値創造によるローカルガストロノミーの創造	(2) アドベンチャーツーリズム ・サイクルツーリズム（ヒルクライム、拠点整備による面的ひろがり） ・みちのく潮風トレイル ・ガイドによるハイキングツーリズム (八幡平版ガイド制度に向けて)	(3) 地域文化 ・武士道＋馬文化のコンテンツ深化
--	---	--	--

2. 受入体制と営業体制 ①観光地域づくり法人及び観光関連地域組織のありかたの整理 ②海外への商流づくり	(1) DMC機能＜ヒト＞ ・DMOとDMCの機能分担 ・人材確保 ▶人材採用のキーワード ▶海外人材活用の現状 ▶海外人材受け入れの方策	(2) 営業体制の構築＜コネ＞ ・観光DXを動員したオンライン営業の体制づくり（実効性あるオンライン戦略） ・海外インフルエンスの活用による情報発信
--	--	--

3. マスタープランの改訂 ①マーケットイン視点でのウリ精査の反映 ②拠点づくりの整理 ③戦略・アクションプランの検討	(1) ウリとヤドの連携（ヤド、アシ） ・高付加価値アシ ・ヤドの立地状況の整理 ・ヤドとウリの連携状況の整理 ・高付加価値アシ（ヘリコプター）を活用した交通へき地への送客実証（所要時間、季節性）	(2) サステイナブルな地域づくり ・地熱発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用状況の整理 ・再生可能エネルギーを活用した地域づくりの可能性の検討 ・サステイナブルな地域内交通づくり（地熱利用の蓄電池）
--	--	--

八幡平エリアにおける取組

最終目標：八幡平エリアを、来て、滞在して、楽しい場にする

Making Hachimantai a Fun Place to Visit and Stay

高付加価値コンテンツ及びサービスの一般化による地域スタンダードの向上

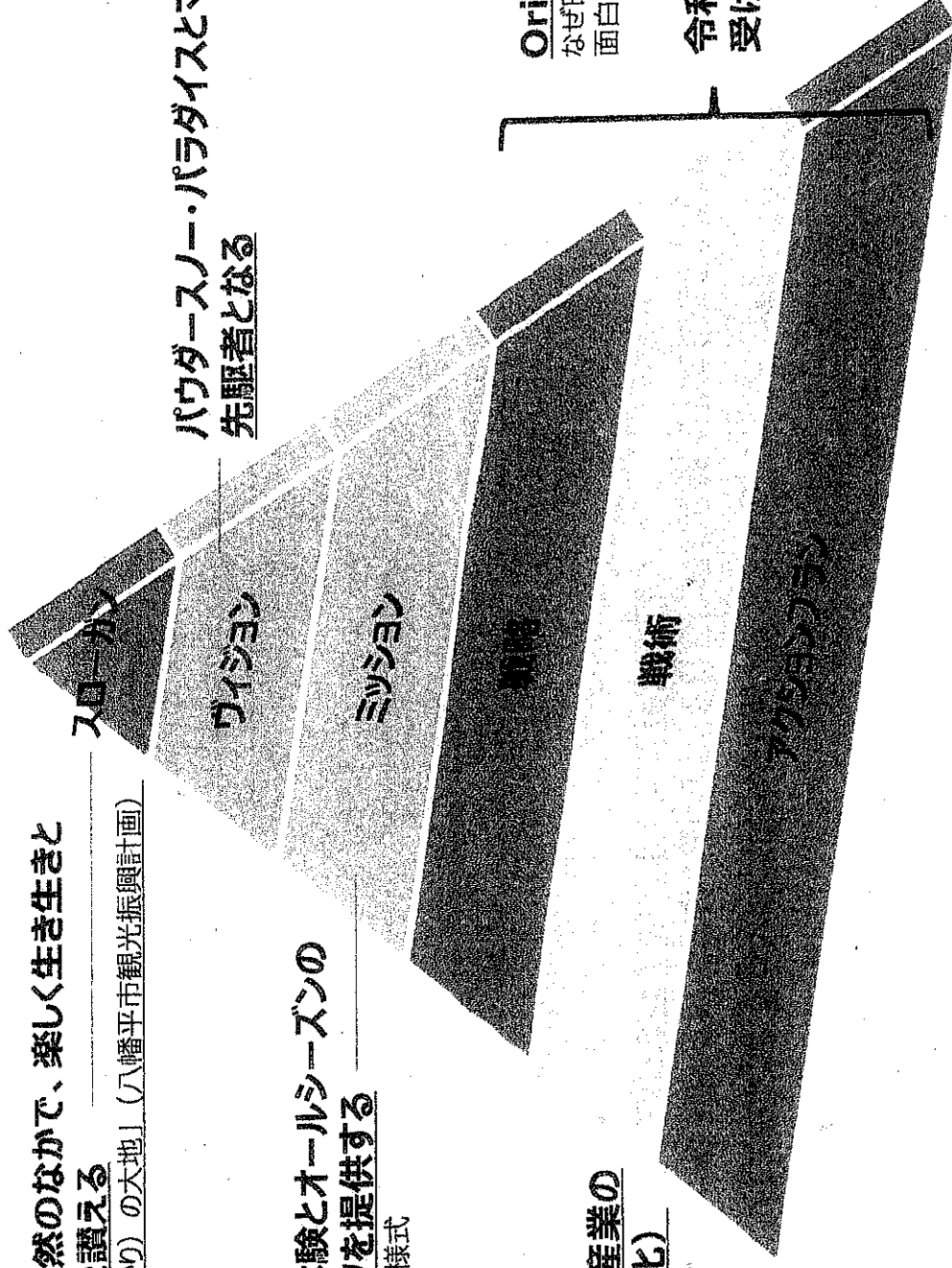
パウダースノーと自然のなかで、楽しく生き生きと
マウンテン・ライフを讀える

「農（みのり）と輝（ひかり）の大地」（八幡平市観光振興計画）

最も良質な雪体験とオールシーズンの
マウンテン・ライフを提供する

地域文化が育む生活様式
スローライフ

パウダースノー・パラダイスとマウンテン・ライフの
先駆者となる



観光を支える1次産業の
強化（国土強靱化）

Origin of Japan

なぜ日本・東北は
面白く思われるのか

令和6年度成果を
受けて構築